

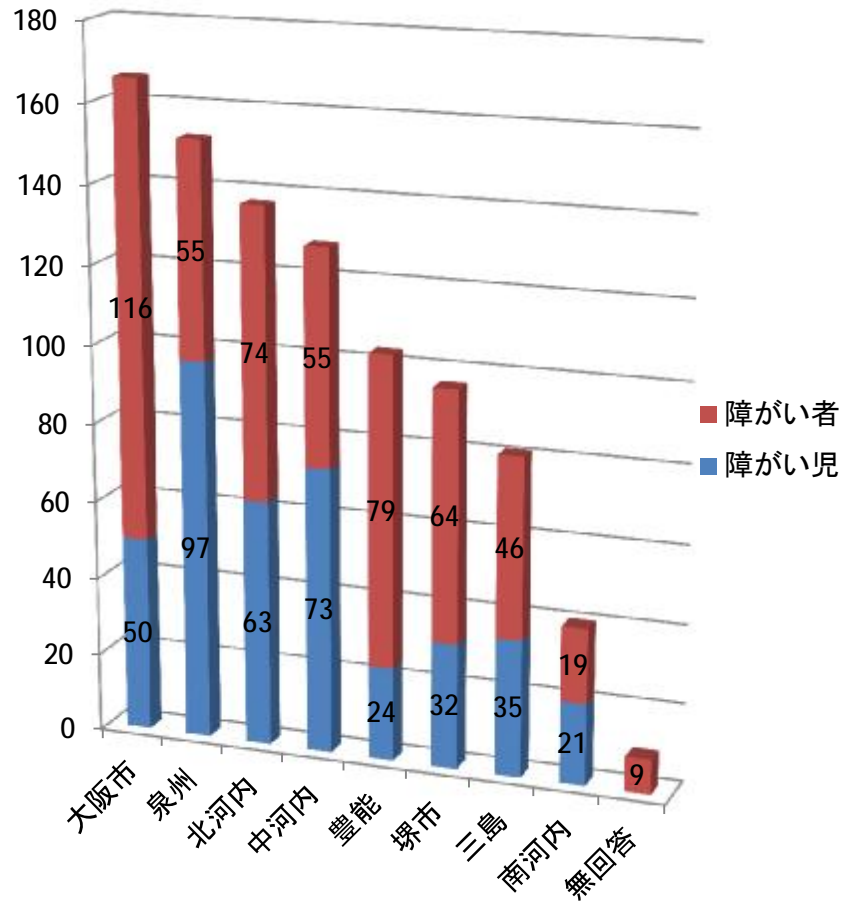
## 重症心身障がい児(者)の状況等

- 重症心身障がい児(者)とは
  - 重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複
  - 障がい状態像
    - ・ほとんど寝たままで自力で起き上がれない状態が多い。手、足が変形又は拘縮、側彎や胸郭の変形を伴う人が多く、極度に筋肉が緊張し、思うように手足が動かさない。
    - ・誤嚥を起こしやく、きざみ食、流動食で栄養摂取。
    - ・言語による理解が困難で意思伝達が困難。
    - ・肺炎、気管支炎を起こしやすく、たんの吸引が必要。非常に重度の場合は人工呼吸器を装着、経管栄養等医学的管理が必要⇒医療的ケア
- 重症心身障がい児(者)数推計値 約2,660人  
※対人口比 約0.03% (H22国勢調査 大阪府人口 8,865,245人)  
(※H19 日本小児科学会倫理委員会調査結果)
- 大阪府における重症心身障がい児者の増加 (第4次大阪府障がい者計画から引用)
  - ・身体障がい者手帳(1級・2級)所持者数:172,228人  
増加率(2006→2011年):112.5%
  - ・療育手帳(A)所持者数:28,808人  
増加率(2006→2011年):117.1%※市町村別重度心身障がい児者数(重度の知的障がいと重度の身体障がいの重複)は今後調査予定
- 重度障がい者介護手当受給者数 2,030人(H24.4現在)(大阪市・堺市を除く)
  - ・対象者:療育手帳の障がい程度が「A(重度)」(あるいは子ども家庭センター等で「A(重度)」の知的障がいの判定)で、かつ身体障がい者手帳1級または2級の交付を受けた人

医療的ケアが必要な重症心身障がい児(者)等の地域生活支援方策に係る調査結果(平成23年3月)  
 (大阪府障がい者自立支援協議会 地域支援推進部会 調査検討会)

(1) 障がい児(者)の状況

① 障がい児・者数(圏域別)



調査回答914名(回収率47%)(うち年齢不明2名)

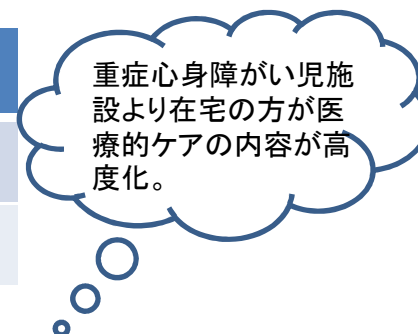
② 障がい原因となった主病名

(単位:人)

病名	障がい児	障がい者	合計
脳性まひ	70 (17.7%)	202 (39.1%)	272
新生児疾患 (HIE,PVL,IVH等)	48 (12.2%)	28 (5.4%)	76
染色体異常症	46 (11.6%)	15 (2.9%)	61
先天性脳奇形	33 (8.4%)	22 (4.3%)	55
先天異常症	31 (7.8%)	9 (1.7%)	40
West症候群、他の てんかん	31 (7.8%)	46 (8.9%)	77
髄膜炎・脳炎・脳 症	24 (6.1%)	28 (5.4%)	52
神経筋疾患、ミトコ ンドリア病	18 (4.6%)	13 (2.5%)	31
脊髄疾患(先天 性・後天性)	13 (3.3%)	7 (1.4%)	20
その他	40 (10.1%)	65 (12.6%)	105
無回答	41 (10.4%)	82 (15.9%)	123
総計	395 (100%)	517 (100%)	912

### ③家族が行っている医療的ケアの内容と重症心身障がい児施設での医療的ケアの比較

医療的ケアの内容	吸引	経管栄養	パルスオキシメーター	吸入	気管切開部の管理	在宅酸素(HOT)	人工呼吸器の管理
在宅	34.0% (311人)	33.8% (309人)	17.9% (164人)	17.4% (159人)	14.8% (135人)	13.1% (120人)	7.2% (66人)
重症心身障がい児施設	16.2% (92人)	19.4% (110人)	9.5% (54人)	9.9% (56人)	0.6% (36人)	0.1% (4人)	2.6% (15人)



### ④重症心身障がい児施設入所者の状況(府所管3施設)

#### ○年齢別入所者の状況

- ・18歳以上入所者数: 567名(定員の94%)、40歳以上が70%、入所期間31年以上が21%  
⇒障がい児の新たな入所が困難な状況

### (2)重症心身障がい児(者)のニーズ

#### ○地域で安心して暮らし続けるうえで必要と感じているサービス等

- ・短期入所事業所の増 60.2%、医療機関による短期入所の実施 45.1%
- ・医療的ケアに対応できる事業所の充実(ホームヘルプ40.8%、生活介護37.0%、ケアホーム40.2%)  
※夜間・休日のヘルパー利用37.1%、入院中も利用できるヘルパー制度の創設41.1%
- ・訪問看護の充実(利用料の軽減26.6%、事業所の増24.8%)
- ・相談支援体制の充実 39.3%
- ・重症心身障がい児(者)を診察してくれる専門医の増 52.7%
- ・医療型障がい児入所施設等(旧重症心身障がい児施設)の増 39.6%

### (3) 障がい福祉サービスの現状

#### ① 医療的ケア対応事業所

・居宅介護24%、重度訪問介護26%、児童デイ28%、生活介護37%、短期入所39%

#### ② 利用状況

・障がい児632名、障がい者2,906名

#### ③ 医療的ケアの内容

区分	居宅介護		重度訪問介護		生活介護		短期入所		児童デイ		重心通園	
		実施率		実施率		実施率		実施率		実施率		実施率
吸引	169	53.0%	151	56.1%	66	58.4%	30	55.6%	9	50.0%	8	100.0%
吸入	63	19.7%	54	20.1%	35	31.0%	20	37.0%	5	27.8%	5	62.5%
経管栄養	98	30.7%	85	31.6%	64	56.6%	29	53.7%	8	44.4%	8	100.0%
中心静脈栄養	8	2.5%	9	3.3%	7	6.2%	4	7.4%	2	11.1%	2	25.0%
導尿	68	21.3%	58	21.6%	44	38.9%	26	48.1%	6	33.3%	3	37.5%
在宅酸素	79	24.8%	71	26.4%	31	27.4%	19	35.2%	5	27.8%	2	25.0%
パルスオキシメーター	60	18.8%	57	21.2%	48	42.5%	18	33.3%	6	33.3%	7	87.5%
気管切開部の管理	23	7.2%	21	7.8%	35	31.0%	14	25.9%	4	22.2%	5	62.5%
人工呼吸器の管理	26	8.2%	24	8.9%	18	15.9%	3	5.6%	2	11.1%	2	25.0%
服薬管理	187	58.6%	156	58.0%	92	81.4%	49	90.7%	11	61.1%	8	100.0%
その他	33	10.3%	27	10.0%	21	18.6%	2	3.7%	3	16.7%	1	12.5%
医療的ケア対応事業所数	319	-	269	-	113	-	54	-	18	-	8	-

## (4) 訪問看護ステーション

### ①医療的ケアが必要な障がい児(者)に対応する事業所

・利用可能 ⇒ 74%

### ②利用状況

・障がい児237名、障がい者1,062名

### ③医療的ケアの内容

医療ケアの内容		障がい児数	割合	障がい者数	割合	合計	割合
吸引	口・鼻腔内	126	96.2%	114	18.4%	241	32.6%
	気管内	102		81		183	
吸入		37	15.6%	31	2.9%	68	5.2%
経管栄養	経鼻栄養	76	64.1%	24	12.9%	101	22.3%
経管栄養	胃ろう	72		107		179	
経管栄養	腸ろう	4		6		10	
中心静脈栄養	カテーテル	3	3.0%	1	1.4%	4	1.7%
中心静脈栄養	ポート	4		14		18	
導尿	自己導尿	9	5.5%	42	14.7%	51	13.0%
導尿	留置カテーテル	4		114		118	
在宅酸素		110	46.4%	66	6.2%	176	13.6%
パルスオキシメーター		169	71.3%	261	24.6%	431	33.2%
気管切開部の管理(ガーゼ交換、消毒等)		102	43.0%	68	6.4%	170	13.1%
人工呼吸器の管理		64	27.0%	61	5.7%	125	9.6%
服薬管理		40	16.9%	636	59.9%	676	52.1%
リハビリテーション		129	54.4%	258	24.3%	388	29.8%
身体介護	入浴介助	100	85.7%	107	33.0%	208	42.6%
身体介護	排泄介助	86		222		308	
身体介護	食事介助	17		21		38	
その他		24	10.1%	87	8.2%	111	8.6%
医療的ケアが必要な障がい児(者)数		237	—	1,062	—	1,299	—